

平成27年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 平成27年度考古博物館経過事業について
 - (2) 平成27年度考古博物館予定事業について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

平成27年11月11日(水)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成27年度 考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	1
3 イベント	3
4 職場体験・インターンシップ・学芸員実習	4
5 古代衣装貸し出し	4
6 ボランティアガイドの実施	5
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	6
(2) 特別展観覧者数	7
(3) 学校関係利用状況	8
(4) 総利用者数	9
◇ 平成27年度 考古博物館予定事業について	
1 展示活動	10
2 学習会・講座など	10
3 イベント	11
4 展示の充実	11
◇ 平成28年度 第34回特別展（予定）について	11
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	12
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	13

◇ 平成27年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

(1) 第33回特別展

テーマ：『縄文の美 ―世界に誇る JOMON 芸術―』

会 期：10月6日(火)～11月23日(月)

開催日数：49日

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：縄文土器はその優れた造形美と多彩な文様によって、日本国内だけでなく世界でも高く評価されています。山梨県内の遺跡からも人や動物、植物などさまざまなモチーフを組み合わせた文様の土器が多数出土しており、とくに縄文時代中期の土器においてその芸術性の高さが際立っています。今回の特別展ではそうした「縄文王国山梨」が誇る優れたコレクションとともに、関東甲信越の近隣地域からも傑出した縄文芸術の名宝の数々が一堂に集まります。国宝や重要文化財クラスの品々の競演の場を提供します。

(2) 企画展

① 春季企画展『甲斐の SAMURAI ゆかりの遺跡―城・館・屋敷・墓―』

入館者：6,633人

会 期：4月25日(土)～6月14日(日)

開催日数：51日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：武士が誕生した平安時代以降、山梨には多くの武士がいました。その中で、県内での武士の動きが顕著になる室町時代から江戸時代に活躍した武士に焦点をあて、遺跡から出土した考古資料を使いながら彼らの足跡を紹介しました。

② 夏季企画展『近代山梨の遺跡と遺物～養蚕・舟運・堤防・戦争～』

入館者：4,637人

会 期：7月18日(土)～8月30日(日)

開催日数：44日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：昨年は「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、さらに今年は「明治日本の産業革命遺産」も世界遺産に登録にされ、ここ数年、近代の産業遺産の価値が見直されています。山梨県内各地で発掘された近代の遺跡・遺物からは、今日に至るまでの山梨を支えた産業の存在と土木技術の革新を垣間見ることができます。また一方、戦争遺跡の調査からは、その土地に刻まれた当時のさまざまな記憶が鮮明になってきています。戦後70年の節目を迎える今、最も新しい時代の考古学から現代について考える機会を提供します。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

戦国時代への関心が高まる中、「甲斐國の城」というテーマで開催いたします。甲斐源氏武田氏に深いかわりのある城や軍事施設、また軍略について講師の方にご講演いただきます。

第1回 6月6日(土) 考古学が語る「甲斐國の城」1
「武田烽火台群～獅子吼城と戦国通信網～」
講師：北杜市教育委員会 村松佳幸氏 受講者：86人

第2回 7月4日(土) 考古学が語る「甲斐國の城」2
「谷戸城跡～甲斐源氏武田氏の祖、逸見氏の居城」
講師：北杜市教育委員会 渡邊 泰彦氏 受講者：72人

第3回 7月18日(土) 考古学が語る「甲斐國の城」3
「岩殿城跡～武田の支城、郡内の軍事拠点～」
講師：大月市教育委員会 稲垣 自由氏 受講者：85人

第4回 8月15日(土) 考古学が語る「甲斐國の城」4
「要害城跡と熊城跡～武田氏館の詰城～」
講師：甲府市教育委員会 信藤 祐仁氏 受講者：74人

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鋳山史などを専門とする館長が最新の考古学の研究成果をわかりやすくお話しします。

第1回 4月11日(土) 「城の考古学3～八田家家財目録を読む～」 受講者50人
第2回 6月13日(土) 「城の考古学4～謎の福泉寺城～」 受講者70人
第3回 8月22日(土) 「城の考古学5～武川衆と面々の小屋」 受講者59人
第4回 10月24日(土) 「城の考古学6 山本勘助と『城取』」 受講者57人

(3) 縄文王国

- ① 「どきどき☆カワイイさがし」デッサンコンテスト
期 間：7月18日(土)～11月30日(月)
会 場：考古博物館(103点)、県立博物館、北杜市考古資料館、韮崎市民俗資料館(100点)、南アルプス市ふるさと文化伝承館、釈迦堂遺跡博物館、ふじさんミュージアム
- ② 「縄文文様教室」どきどき☆カワイイさがしデッサンコンテスト関連
期 日：8月22日(土)
会 場：釈迦堂遺跡博物館 参加者：16人
講 師：小野正文氏・秋田かな子氏
- ③ 「縄文夜会」
期 日：8月22日(土) 17:30～20:30
会 場：南アルプス市ふるさと文化伝承館 参加者：24人
- ④ 縄文王国山梨シンポジウム 世界に誇る「縄文の美」を語る
期 日：10月17日(土) 岡島ローヤル会館 参加者：97人
今村啓爾氏、菅沼亘氏、小野正文氏、長沢宏昌氏、萩原三雄館長

(4) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

第64回	5月17日(日)	「白山城周辺と武田の里を歩く」	参加者：33人
第65回	8月2日(日)	「富士講の参詣道を歩く」	参加者：23人

(5) チャレンジ博物館

小中学生を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

チャレンジ博物館(小・中学生親子対象ものづくり教室)

第1回	4月19日(日)	「石製耳飾りづくりにチャレンジ」	20人
第2回	5月17日(日)	「古銭づくりにチャレンジ」	11人
第3回	6月14日(日)	「弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ」	16人
第4回	7月19日・26日・8月9日(日)	「縄文土器づくりにチャレンジ」	50人
第5回	8月23日(日)	「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」	44人
第6回	9月6日(日)	「はにわづくりにチャレンジ」	25人
第7回	10月18日(日)	「石製耳飾りづくりにチャレンジ」	12人

(6) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画

第1回	4月25日(土)	「埴(けつ)状耳飾り作り体験」	7人
第2回	5月10日(日)	「古銭作り体験」	6人
第3回	6月27日(土)	「勾玉作り体験」	19人
第4回	7月12日(日)・25日(土)	「青銅器体験」	9人
第5回	8月8日(土)・16日(日)	「トンボ玉作り体験」	10人
第6回	9月12日(土)・9月27日(日)	「青銅器作り体験」	10人
第7回	10月17日・31日(土)	「縄文土器作り教室」	20人

3 イベント

(1) 第25回 風土記の丘こどもまつり

参加者：33,875人

5月5日(火)・6日(水) 風土記の丘及び風土記の丘研修センター内外

勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 考古博エントランスホールでのミニイベント

4月26日(日)	『甲冑を着て戦国武将に変身!』	参加者：24人
5月24日(日)	『甲府城の瓦で拓本しおりをつくろう!』	参加者：23人
6月14日(土)	『ギャラリートーク』春季企画展関連	参加者：30人

- 7月19日(日) 『絵本読みきかせ～ドキドキ☆カワイイの探し方』 参加者： 24人
- 7月26日(土) 『戦争体験おはなし会/昭和の紙芝居を読もう』 参加者： 35人
- 8月23日(土) 『竪穴住居でおはなし会&おえかき』 参加者： 25人
- 11月1日(日) 『竪穴住居でおはなし会&おえかき』 参加者： 15人

(3) 夏休みスタンプラリー

7月18日(土)～8月31日(月)

スタンプブックを持った入館者で希望者が縄文土器の拓本体験などをする夏休み企画

- | | |
|------------------------|-----------|
| ① 『古代の火おこしにチャレンジしよう!』 | 参加者： 77人 |
| ② 『勾玉をつくろう!』 | 参加者： 201人 |
| ③ 『プラバン・ストラップをつくろう!』 | 参加者： 339人 |
| ④ 『青銅鏡をつくろう!』 | 参加者： 23人 |
| ⑤ 『土器の拓本をつくろう!』 | 参加者： 237人 |
| ⑥ 『ドキ土器☆お絵かきデッサンコンテスト』 | 参加者： 94人 |

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月21日(月) アイメッセ山梨(甲府市) 参加者： 82人

(5) 特別展関連イベント

縄文王国山梨シンポジウム 世界に誇る「縄文の美」を語る

期日：10月17日(土) 岡島ローヤル会館 参加者： 97人

(6) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業; 常時対応)

(9月末現在)

勾玉作り 参加者： 2,475人

火起こし体験 参加者： 4,782人

(7) その他のイベント

10月25日(日) 収穫祭 参加者： 177人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験(7月15日現在22人)、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習(8月1日～8月11日に3名)を受け入れ。

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

5月29日(金)～6月23日(火) 狛江市立狛江第一小学校
10月8日(木)～10月27日(火) 海老名市教育委員会
合計：2件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢16名で活動。

4月	4日間(延べ4名：開館日数27日)
5月	6日間(延べ9名：開館日数27日)
6月	11日間(延べ12名：開館日数23日)
7月	13日間(延べ19名：開館日数27日)
8月	8日間(延べ12名：開館日数27日)
9月	8日間(延べ11名：開館日数24日)
10月	4日間(延べ5名：開館日数24日)

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

特別展観覧者数

平成27年10月末現在 (単位:人)

年度	開館 日数	個人			団体			割引制度(特)券・宿泊等)	前売券	旅行社 クーポン	年間バス シート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均		内 容
		大学・一般	小・中・高	大学・一般・高	大学・一般・中・高	大学・一般・中・高	回												
58	46	2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	1	土偶	
59	35	1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒道具	
60	37	1,362	161	832	36								785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁	
61	56	3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と畿内王権	
62	29	1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化	
63	28	1,924	242	359	24								1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具	
1	31	1,098	264	616	316								2,522	809	5,625	181	7	一粒の剝展	
2	36	1,503	242	448	81								3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる	
3	36	1,100	199	350	3								3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界	
4	36	2,263	344	414	115								1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代	
5	35	840	101	231									2,446	973	4,591	131	11	山梨の経塚	
6	36	2,414	534	96									1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑	
7	44	55,623	9,554	1,943	576								4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカンの発掘展	
8	32	7,999	1,432	259	219						10,045		608	420	14,059	439	-	ホアンテタル人の復活展	
	19	1,268	178	92									125	2,178	4,424	233	14	新発見考古学展	
9	33	1,683	167	189									62	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展	
10	44	5,173	883	151	458								208	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展	
11	39	1,985	394	166	457								87	1,478	6,812	175	17	縄文の旅	
12	39	2,842	383	179	173								94	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展	
13	44	1,555	309	205	205								92	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き	
14	38	1,884	449	274	89								142	1,375	6,373	168	20	技と美の誕生	
15	38	1,965	133	126									145	2,274	8,127	214	21	大トルコ展	
16	46	1,052	116	285	14								81	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展	
17	58	942	167	206	234								109	863	5,154	89	23	山の民と海の民	
18	51	993	191	115	42								83	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト	
19	52	12,958	2,908	498	355								2,507	729	51,241	985	25	世界遺産ナスカ展	
20	55	647	428	164	592								90	905	6,549	119	26	埋められた財宝	
21	51	605	420	39	351								68	748	5,088	99	27	卑弥呼時代の黄泉世界	
22	51	453	236	40	390								44	751	4,329	85	28	発掘された女性の系譜	
23	50	810	338	92	1,124								102	1,154	6,773	135	29	縄文土器名宝展	
24	50	12,437	4,782	193	999								1,309	2,404	64,865	1,297	30	インカ帝国展	
25	55	563	1,504	104	674								82	973	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人	
26	44	672	1,172	23										886	5,017	114	32	掘り起こされた音の形	
27	24	166	368	40										444	2,567	107	33	縄文の美	

学 校 関 係 利 用 状 况

平成27年10月末日現在 (単位：校、人)

年 度	県 内						県 外						合 計			
	小学校		中学校		高 校		小学校		中学校		高 校				計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480
26	65	2,989	17	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494
27	53	2,669	13	337	4	192	70	3,198	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064
計	1,563	88,565	313	12,724	91	3,882	1,967	105,171	1,168	83,313	231	20,595	50	3,481	1,449	107,389

(参考) H26年10月末現在

26	53	2,520	17	747	1	148	71	3,415	53	3,654	9	840			62	4,494	133	7,909
----	----	-------	----	-----	---	-----	----	-------	----	-------	---	-----	--	--	----	-------	-----	-------

考古博物館 総利用者数

平成27年10月末日現在 (単位:人)

項 目	24年度	25年度	26年度	27年度	増減		事 業 内 容
					対H26 10月末比	H26～26平均 (H24除)10月末 比	
常設展 観覧者数	64,356	23,125	23,227	18,791	4.4%	3.6%	
特別展 観覧者数	64,865	6,545	5,017	2,567	28.7%	△ 17.4%	
企画展 観覧者数	23,007	22,873	14,075	11,270	△ 4.3%	△ 23.0%	春季・夏季・(冬期)企画展、わたしたちの研究室(展示)、富士山の日ミニ展示、山の運跡展等
主催事業 参加者数	25,677	20,956	22,676	15,378	△ 19.9%	△ 16.3%	
講座等	511	418	676	593			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別展記念講演会
ものづくり教室	415	443	449	259			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	9,073	8,886	8,747	8,308			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鏡等)
イベント等	13,542	8,619	10,898	5,219			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(7イカセ)、夏休みファミリーパスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室装身式・装身袋、考古博着まつり 等
風土記の丘ごどもまつり	2,136	2,890	1,906	999			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	1,530	2,271	1,736	1,080	※ △ 30.0%	※ △ 32.5%	
風土記の丘望見展観覧者数	262	93	119				(7月～8月開催)
施設利用	1,268	2,178	1,617	1,080			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H24:1,996、H25:1,935、H26:2,054、H27:662
総利用者数	179,435	75,770	66,731	49,086	※ △ 7.0%	※ △ 12.4%	

※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

◇ 平成27年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 『第13回わたしたちの研究室』

今年で12回目を迎えるコンクール『わたしたちの研究室』の応募作品を一同に展示し、参加者の交流や次回以降に向けたレベル向上や参加者拡大に向けた促しなどを期する。

会 期：2月9日（火）～3月6日（日）

会 場：考古博物館多目的室

(2) 『富士山ミニ展示』

県条例の「富士山の日」に協賛した企画で、関係する考古資料などによりミニ展示を行い、富士山につながる信仰の歴史などを学ぶ機会とする。

会 期：2月13日（土）～2月28日（日）

会 場：エントランスホール

(3) 『山梨の遺跡展2016』

平成27年度に県内で実施された発掘調査の成果を中心に、出土品等を速報的に展示し、最新の考古学研究の情報を県民に提供する。

会 期：3月12日（土）～4月10日（日）

会 場：考古博物館多目的室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

平成27年度の後半も、次のような講座等を開催し、県民に郷土の歴史や考古学の成果等を提供し、また各種の体験ができるよう努めていく。

(1) 館長講座

第3回 12月12日（土） 「城の考古学」(7)

第4回 2月27日（土） 「城の考古学」(8)

(2) 史跡文化財セミナー

第66回 3月13日（日） 『谷村城下町を歩く』

(3) チャレンジ博物館

第8回 11月15日（日） 『土偶づくりにチャレンジ』（特別展関連）

第9回 12月6日（日） 『干支の土鈴づくりにチャレンジ』

第10回 1月24日（日） 『縄文時代のかごづくりにチャレンジ』

第11回 2月14日（日） 『弥生時代の笛づくりにチャレンジ』

第12回 3月13日（日） 『勾玉づくりにチャレンジ』

(4) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

- 第 8回 11月21日(土) 『土偶作り』(特別展関連)
第 9回 12月 5日(土) 『干支の土鈴作り』
第10回 1月23日(土) 『草木染め』
第11回 1月30・2月6日・20日(土) 『縄文土器作り』
第12回 3月6・12日(土) 『青銅器作り』

3 イベント

(1) 県民の日イベント

11月20日(木) 「古代とあそぼう」

(2) 落ち葉で焼きいも(共催)

11月23日(月) (特別展最終日)

(3) 古代のもちつき

1月3日(日)

(4) 風土記の丘探検隊

1月24日(日)

(5) 第13回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月7日(日)

4 展示の充実

平成25年6月19日付けで重要文化財指定を受けた「酒呑場遺跡出土品」について、今年度からの5年計画の国庫補助事業として指定品の保存修理事業に着手している。保存修理が終了すると、常設展などで展示が可能となり、本県の縄文文化の奥行きをいっそう豊かに魅力的に見ていただくこととができるようになる。

平成27年度事業対象 縄文土器20点

◇ 平成28年度 第34回特別展(予定)について

テーマ:『よみがえる武士の魂(スピリッツ)(仮称)』

—考古資料から読み解く鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—

会期:平成28年9月28日(水)～11月23日(水) 57日間(休館を含む)

会場:山梨県立考古博物館

概要:甲斐源氏の祖、新羅三郎義光は後三年の役に参戦により奥州の弓馬の術を習得し、これを契機に源氏は武家の棟梁としての名声を不動のものとしていく。奥州藤原氏は「平泉」に国際色宗教色あふれる文化を隆盛させ、この文化の粋を吸収して築かれたのが最初の武家の都「鎌倉」である。

甲斐源氏勃興の時代である平安時代末から鎌倉時代にかけての出土品と、武家文化が花開いた平泉・鎌倉の出土品を比較展示して、武家文化の世界を訪ねる。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十六年十月二十三日～平成二十八年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	飯野章	社会教育関係 (南アールプス市教育委員会 教養長職務代理者)
委嘱	山梨県PTA協議会会長	三井久美子	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	田中倭子	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	長瀬宏昌	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会名誉会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	飯野奈津子	学識経験者
委嘱	風土記の丘農産物加工直売組合 加工部代表	柿嶋美保子	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	小林千澄	学校教育関係 (甲府市立中道南小学校校長)
任命	山梨県高等学校校長協会	望月立弥	学校教育関係 (県立甲府南高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	宮川一男	学校教育関係 (甲府市立朝日小学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会長	武井多加志	学校教育関係 (県立白根高等学校校長)

(平成二十七年十一月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。